

教科 科目名	理科	単位数(週あたりの授業時数)		5	単位
	化学	履修学年(類型)	2	学年	理系
教科書名(出版社名)			化学(数研出版)		

●学習到達目標

化学的な事物・現象についての観察, 実験などを行い, 自然に対する関心や探求心を高め, 化学的に探求する能力と態度を育てるとともに基本的な概念や原理・法則を理解させ, 化学的な自然観を育成する。

●学習計画

学期	月	単元名	学習内容
2	9月	電池と電気分解	電池の仕組みと電気分解の量的関係を理解する。
		固体の構造	特に金属の結晶格子の種類を学習する。
	10月	気体	気体の体積は液体や固体と異なり, 圧力や温度で大きく変化することを理解する。
		溶液	物質が水に溶解するときのしくみを理解し, 薄い溶液では溶質粒子に依存しない共通の性質が表れることを, 気体の場合との関係を参考にしながら学ぶ。
	11月	化学反応とエネルギー	化学反応の熱との関係をエネルギーという観点で整理する。
		化学反応の速さとしくみ	化学反応の速さについて数式を用いて学習する。
12月 ～	化学平衡	化学平衡について平衡移動の原理と可逆反応の環境の変化による量的関係を扱う。	
3	3月	典型元素	周期表1, 2, 14～18族の元素について個別の性質を詳しく扱う。

●観点別評価

3観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	知識を問う問題にほぼ解答できる 実験を効率良く行う	思考力を問う問題に解答できる 化学現象を説明できる	主体的に学習に取り組み 科学的に探究している
B	基本的な発問に答えられる 実験を手順通りに行う	自然科学の事象を考察できる 化学の現象名が言える	自然科学の事象の理解に 意欲を持って取り組む
C	基本的発問に答えられない 実験に参加していない	化学現象について判断しようとする	自然の科学事象に興味を持つ
評価 方法	定期考査 単元テスト 実験に対する技能	定期考査 単元テスト 発問に対する答え	レポート 授業・実験に取り組む姿勢 グループ活動での取組
評価の 重み	$\alpha=0.4$	$\beta=0.4$	$\gamma=0.2$